

5 総務管理課

(1) 消防防災対策

ア 市町村の消防体制及び消防職員等の状況

(ア) 常備消防は、管内 11 市町村で構成する佐久広域連合消防本部が設置されており、消防団は各市町村に設置されています。

(イ) 消防職員及び消防団員数

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

区 分	条例定数 (人)	現員数 (人)	充足率 (%)
	A	B	C = B / A
消 防 職 員	251	245	97.6
消 防 団 員	4,332	3,834	88.5

注) 条例定数とは各市町村が「消防力の整備指針」(消防庁告示)に基づき、実情を勘案して条例で定めた消防職員・団員の総数です。

(ウ) 市町村消防力の状況 (主なもの)

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

区 分	消 防 団	広 域 消 防	合 計
消防ポンプ自動車 (台)	39	13	52
小型動力ポンプ (口) ※ 1	316	1	317
高規格救急車 (台)	0	16	16
その他消防関係車両 (台) ※ 2	34	33	67

※ 1 小型動力ポンプ、小型動力ポンプ付積載車及び小型動力ポンプ付水槽車の合計

※ 2 照明電源車、救助工作車、指揮車など上記に含まない車両

イ 管内火災発生状況

令和 7 年度は前年度に比べ、出火件数が増加した。内訳の各項目で、増加傾向が見られ、特に、林野からの出火は、前年度比 700%と大きく増加した。

項 目		令和 7 年 (A)	令和 6 年 (B)	増減 (C=A-B)	対前年比 (%)	
出 火 件 数	総 数 (件)	137	100	37	137.0	
	内 訳	建 物 (件)	54	48	6	112.5
		林 野 (件)	7	1	6	700.0
		車 両 (件)	13	9	4	144.4
		そ の 他 (件)	63	42	21	150.0
焼 損 棟 数 (棟)		76	61	15	124.6	
り 災 世 帯 数 (世帯)		43	41	2	104.9	
り 災 人 員 (名)		70	84	△ 14	83.3	
焼 損 面 積	建物床面積 (㎡)	3,081	5,062	△ 1,981	60.9	
	建物表面積 (㎡)	449	80	369	561.3	
	林 野 (a)	217	8	209	2,712.5	
死 傷 者 数	死 者 (名)	5	7	△ 2	71.4	
	負 傷 者 (名)	16	12	4	133.3	
損 害 見 積 額	総 額 (千円)	165,055	173,582	△ 8,527	95.1	
	内 訳	建 物 (千円)	159,332	148,134	11,198	107.6
		林 野 (千円)	0	0	0	—
		車 両 (千円)	4,478	23,437	△ 18,959	19.1
		そ の 他 (千円)	1,245	2,011	△ 766	61.9

(2) 交通安全

ア 交通事故発生状況

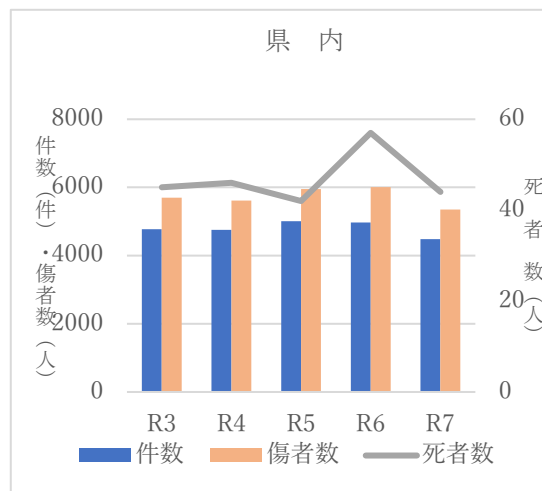
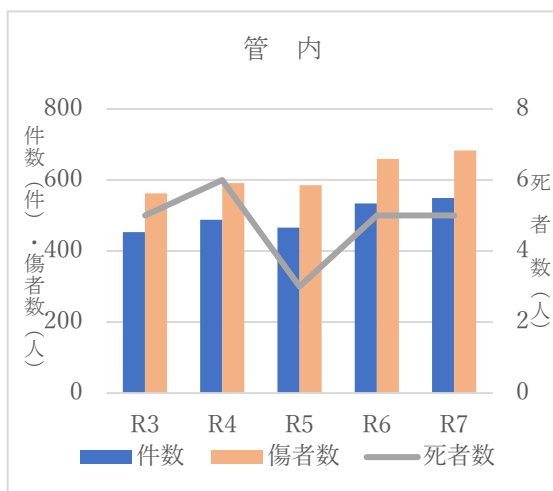
令和7年の管内の交通事故発生状況は、交通事故件数及び傷者数が前年に比べ増加、死者数は前年と同数でした。

件数及び傷者数増加の主な要因は、高齢者の事故と交差点の事故が増加したことによるものです。

【令和7年交通事故件数等】

()内は、対前年増減数

区分	件数(件)	死者数(人)	傷者数(人)
管内	549(+15)	5(0)	683(+24)
県内	4,482(△488)	44(△13)	5,351(△654)



イ 交通安全対策

交通安全運動推進活動は、年4回の季別の交通安全運動期間中を主体に実施し、「高齢者の交通事故防止」、「自転車等利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底」、「飲酒運転の根絶」等と呼ばけかけました。



各季 交通安全運動啓発コーナーを設置



年末 飲酒運転根絶のため横断幕を設置



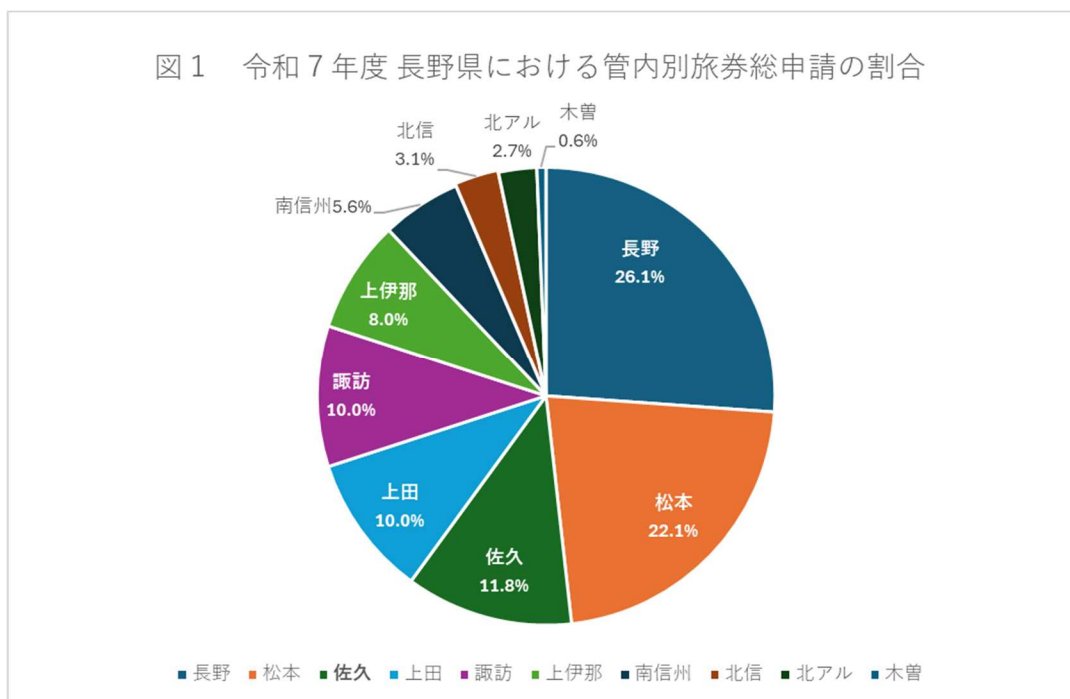
各季 交通安全運動実施中の懸垂幕を設置



春・秋 市町村の出発式と人波作戦に参加

(3) 旅券申請状況

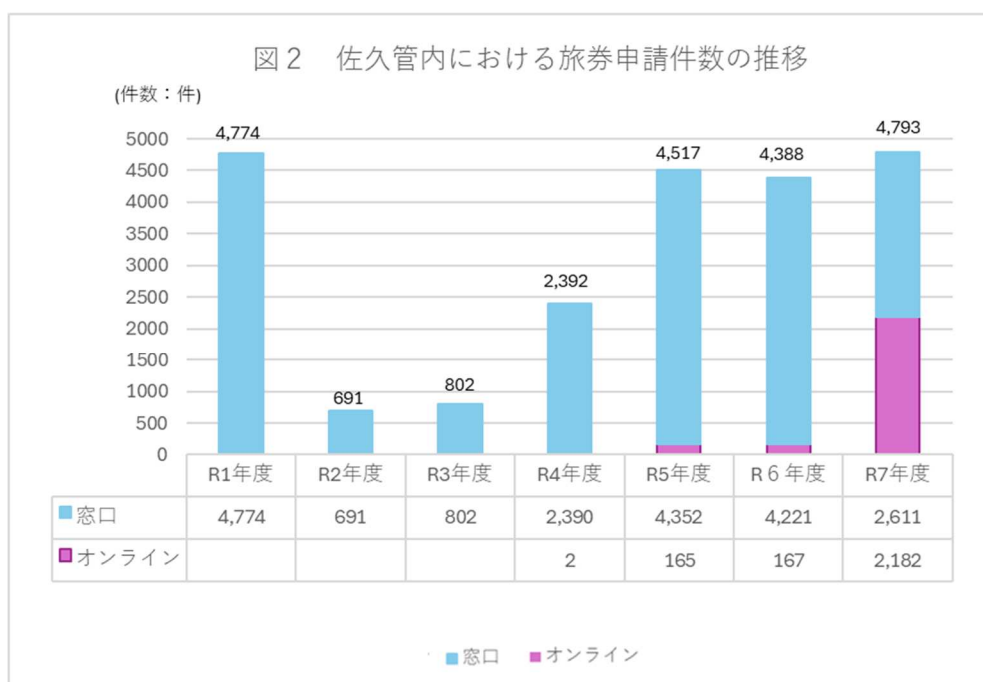
管内では、佐久合同庁舎のほか、小諸市役所(平成28年4月から)、軽井沢町役場(平成31年4月から)において旅券の申請受付・交付事務を行っています。長野県内における申請件数における佐久管内の割合は、11.8%(図1)と県下3番目の割合を占める状況です。



旅券申請件数(図2)は、全県・管内いずれも新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和2年度と令和3年度は大幅に減少しましたが、令和5年5月の行動制限解除以降は、増加しており、管内においては令和7年度の申請件数はコロナ禍以前(令和元年度)の申請件数と同等程度に回復しています。

また、令和5年3月から一部の手続きでマイナポータルを活用した申請(以下「オンライン申請」)が始まり、令和7年3月には全面的にオンライン申請が可能となりました。

旅券申請に関してデジタル化が進められ、オンライン申請件数は著しく増加しています。総申請件数に対し全県は47.8%、管内は45.5%をオンライン申請が占める状況です。



(4) 外国籍県民数

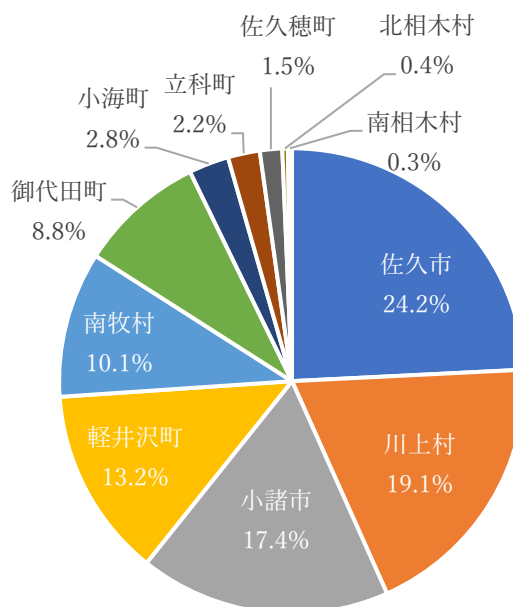
佐久管内では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、令和3年6月末は減少したが、令和4年6月末以降増加傾向です。なお、前年と比較した県全体伸び率と佐久地域の伸び率を比較すると、令和4年6月末以降、県全体より佐久管内の伸び率が大きいことが特徴です。

区分	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
佐久地域(人)	5,061	4,683	4,597	5,230	5,665	6,492	7,049
伸び率(%)	4.1	7.5	△1.9	13.7	8.3	14.6	8.6
県全体(人)	37,845	37,752	36,656	38,384	41,540	44,834	48,228
伸び率(%)	6.1	△0.3	△3.0	4.7	8.2	7.9	7.6

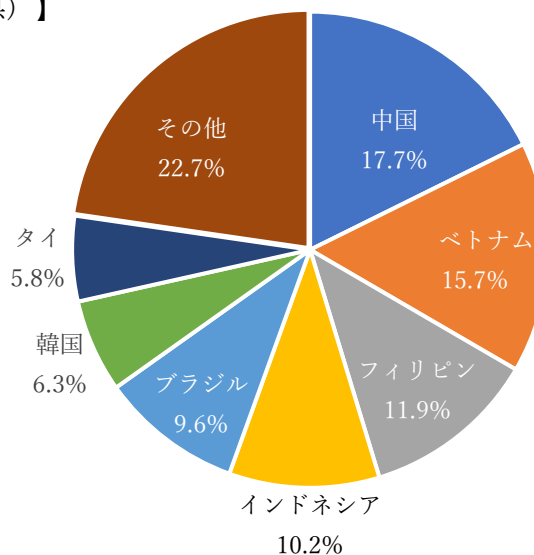
※区分について…該当年6月末時点

【出典：在留外国人統計(半期毎公表)】

【令和7年6月末の市町村別内訳】



【令和7年6月末の国別内訳(長野県)】



(5) 子ども・若者支援施策

ア フードドライブ

県庁及び各地域振興局、各保健福祉事務所、県内のフードバンク関連団体の協働による「フードドライブ統一キャンペーン」を開催しています。

(令和7年度実績)

回数	期 日	名 称	重量(kg)
1	6月9日(月)～7月11日(金)	夏休み前フードドライブ統一キャンペーン	210
2	10月1日(水)～10月31日(金)	食品ロス削減月間フードドライブ統一キャンペーン	431
3	11月25日(火)～12月12日(金)	年末フードドライブ統一キャンペーン	496
合 計			1,137



提供された物品

イ 啓発活動

青少年の健全育成を推進するため、7月と11月を強調月間に位置付け、全県的に信州あいさつ運動等の啓発活動に取り組んでいます。佐久地域においても、街頭（JR中込駅前）で通学途中の高校生等に啓発活動を実施しました。



中込駅でのあいさつ運動の様子

ウ 佐久地域子ども応援プラットフォーム

信州子どもカフェの活動を応援するため、子ども・若者支援団体や行政機関など多様な主体が連携して「佐久地域子ども応援プラットフォーム」を組織し、子どもの居場所づくり普及拡大を推進しています。

令和7年度の主な活動内容

- ・「まるごとつながるフェスタ」への参加（9月13日）

地域活性化を目的に開催されたイベントに参加し、会場となったイオンモール佐久平の一角で、学用品リユースや悩み相談のコーナーを設けて、管内で活動する団体の紹介を行いました。



- ・「ご縁日」イベント開催（12月7日）
佐久市市民創錬センターにて、佐久圏域の子育て家庭を地域で支えることを目的にし、支援団体が連携し、遊び・体験・学びを提供するイベントを開催しました。



- ・交流会の開催（3回）

プラットフォームの構成員か否かを問わず、子ども支援を行っている団体（個人）間の連携を図るため、交流会を実施しました。



- ・提供野菜の配布（7～11月）

川上村の長野県農村生活マイスターの方を中心とした生産農家の方々から、夏は葉物を中心に、秋以降は根菜類も含めた様々な野菜の提供をしていただき、佐久圏域の12ヶ所の子ども食堂に配布を行いました。

